

2017年4月17日

コクヨ株式会社
株式会社リコー

デジタルノート「CamiApp S」のデータを複合機で取り込むことができる新アプリケーション 「[CamiApp for RICOH](#)」を提供開始

コクヨ株式会社(社長:黒田英邦、以下コクヨ)と株式会社リコー(社長執行役員:山下良則、以下リコー)は、コクヨが2014年9月から発売しているデジタルノート「CamiApp S」のデータの業務システムへの取り込みをリコー製複合機で行うことができる新アプリケーション「CamiApp for RICOH」を2017年4月17日(月)からリリースします。本アプリケーションは、リコー製複合機との連携ソフトウェアの開発・提供を支援する「Ricoh Developer Program」を活用し、コクヨがリコーの技術協力のもとで開発・提供するものです。

昨今、介護・医療の現場や工場などの設備の保守点検の現場で、紙の帳票の代わりにタブレット端末を導入し、介護記録や保守点検記録などの紙帳票の電子化や業務効率化を推進する事業者が増えています。一方で、現場スタッフに対するタブレットの使用法の教育や、タブレットの管理、高い初期導入費用、さらには「紙の控えを相手に渡す、判子をもらう」など紙に依存した業務フローにより課題を抱える事業者も多く、思うようにIT化が進みづらいのが現状です。

新アプリケーション「CamiApp for RICOH」では、「CamiApp S」とリコー製複合機をBluetooth®で直接接続することにより、データの業務システムへのアップロードが可能です。現場では、担当者が「CamiApp S」の紙帳票に手書きするという従来のやり方を変えずに、事務所に戻ってきたタイミングで複合機にかざせば、データを業務システムに取り込むことができます。これにより、紙帳票を見ながらパソコンで入力し直すというような重複作業が必要なくなり、アナログ業務の効率化が簡単に実現します。また控えを相手に渡してきてしまった場合は、自分用に記入した情報を複合機で印刷することも可能です。

本アプリケーションにおいて、事業所に設置してある複合機は、コピーやプリントの機能だけではなく、企業内ネットワークの入り口として、外部機器と社内ネットワークをつなぐ中継機としての役割を担います。今後も開発パートナーと協業し、様々な複合機連携アプリケーションやサービスを提供し、お客様の業務課題を解決するご提案をするとともに、複合機の活用シーンを拡大してまいります。

※記入する帳票は、お客様の業種や利用シーンのご要望に合わせて、個別でご提案いたします。

※データのアップロード先は、株式会社 OSK の提供する基幹業務パッケージ「SMILE BS 2nd Edition」や統合型グループウェア「eValue NS 2nd Edition」をはじめとした、各種の業務システムとなります。

コクヨ株式会社

報道関係のお問い合わせ先 コクヨ(株) 経営管理本部 広報室 E-Mail : kokuyo_koho@kokuyo.com
TEL03-3474-6324 (久保)、TEL06-6976-1277 (尾方)

お客様のお問い合わせ先 コクヨお客様相談室:0120-201-594, コクヨホームページ: <http://www.kokuyo.co.jp/>
株式会社リコー <http://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL:03-6278-5228(直通) E-mail:koho@ricoh.co.jp
お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL:0120-892-111

アプリケーション名	CamiApp for RICOH
提供価格	アプリケーションは無償提供。 *ご利用に際しては、「CamiApp S」(オープン価格)の購入、およびデータ出力先となる業務システムが必要です。
提供開始日	2017年4月17日(月)

※詳しくは販売担当者までお問い合わせください。



■ CamiApp S について

「CamiApp S」は、ノートパッドに内蔵されたセンサーによって、専用ペンの動きを認識し、手書き入力した文字情報を認識します。書き込んだデータは、スマートフォン・タブレットの専用アプリ経由で、クラウドサービスや企業の業務システムへ自動でアップロードができ、効率よくデジタルデータ化が可能です。なお、「CamiApp S」に書き込んだ手書きのデータは、文字認識機能により自動でテキスト化されるため、紙を見ながらシステムへの再入力などの手間が無くなります。複写式の紙への書き込みにも対応しているため、介護や医療の現場で、その場で控えを利用者(お客様)にお渡しすることも可能です。電子化を進めたくても現実的には難しかった医療や介護の現場で、担当者はこれまで通り紙の帳票に入力する感覚で、デジタルデータとして、情報を適切に保存できるようになります。

■ アプリケーションの提供方法について

お客様は、複合機のパネルから「RICOH アプリケーションサイト for MultiLink-Panel」に接続し、本アプリケーションをお客様自身で複合機に簡単にインストールすることができます。

■ SMILE シリーズについて

「SMILE シリーズ」は、基幹業務システムとして 1979 年の誕生から今日まで、企業と時代のニーズを先取りしながら、常に進化してきました。販売、会計、人事給与システムをベースに、CRM や CTI、業種別テンプレートなどを多彩にラインナップしています。

「CamiAppS」から生成されたデータは、プログラミングスキルを必要とせず、お客様自身で自由な項目配置が行える、「CRM QuickCreator」を使うことで、独自帳票にも手軽に対応できます。帳票と似たような配色、配置にすることで、データの追加や修正もより簡単に行えます。

■株式会社 OSK からのエンドースメント

今回のコクヨ株式会社様、株式会社リコー様における、「CamiApp for RICOH」の提供開始を心より歓迎いたします。弊社は「SMILE BS シリーズ」「eValue NS シリーズ」というシステムにて、ご販売店様とともに、お客様に最適なお提案を進めてまいります。社内にある複合機を活用した CamiAppS との連携は、手軽に踏み出せるシステム化の一步として、働き方改革の一環に繋がるものと期待しております。今後も一層、コクヨ株式会社様、株式会社リコー様との連携を強化し、「お客様にとって最良のシステム」を提供してまいりたいと考えております。

株式会社 OSK
代表取締役社長 宇佐美 慎治

※Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, INC.の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

※CamiApp および CamiApp S はコクヨ株式会社の登録商標または商標です。

※SMILE BS および eValue NS は株式会社 OSK の登録商標です。

※その他の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、ドキュメントマネジメントシステム、ITサービス、プロダクションプリントソリューション、ビジュアルコミュニケーションシステム、デジタルカメラ、産業用製品・サービスなどを世界約200の国と地域で提供するグローバル企業です(2016年3月期リコーグループ連結売上は2兆2,090億円)。

創業以来80年にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能社会の実現への積極的な取り組みを行ってきました。

想像力の結集で、変革を生み出す。リコーグループは、これからも「imagine. change.」でお客様に新しい価値を提供していきます。

より詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>